



テキサス州：車の旅と ドライブインシアター

法学部 生駒 万貴

高校二年の夏、私は海外留学のために初めて日本を離れました。行き先はアメリカ南部にあるテキサス州。留学期間は一年でした。テキサス州について知っている人は少ないかもしれませんが、テキサスはとにかくとても広い州で、その面積は日本の約二倍です。広大な土地にはDallasやHoustonのような大きな商業都市もあれば、比較的小さな都市もあります。そのため、同じテキサスといっても、場所によって土地の雰囲気や人々の生活環境は大きく異なります。

私が留学した場所は、テキサス州の南端にあるWeslaco Cityという都市で、メキシコとの国境に非常に近いリオグランデバレーに位置していました。この辺りは平屋の建物が多く、一歩外に出ると見渡す限り広大な土地と抜けるような青空が広がります。高層ビルが立ち並ぶ都会のように視界を遮るものは殆どありません。この自然溢れる場所に住むことになった当時の私は、テキサス特有の広大な土地の雰囲気を体験

することをとても楽しみにしていました。

しかし、いざ留学生活が始まると、その広さ故に不便を感じるようになりました。車社会であるアメリカの多くの場所でそうであるように、私が留学した地域にも利用できる公共交通機関は殆どなく、主な移動手段が車のみだったからです。土地があまりに広大で徒歩で行ける場所が限られていたため、運転免許を持っていない未成年者が外出をする際は、常に大人に送迎を頼まなくてはいけませんでした。特に私の場合は、都市の中心部からかなり離れた地域にホームステイしていたことから、どこへ行くにも車が必要でした。そのため、自分の意思で自由に外出できないことを、最初の頃は大変不便に感じていました。

しかし幸運なことに、私が出会ったホストファミリーは、テキサス州キャメロン郡にあるSouth Padre Islandや、Dallas、Houston、San Antonioにある名所等、テキサス州の色々な場所に私や友人を車で頻繁に連れて行ってくれました。そのおかげで、不便さよりも車の楽しさを味わう機会が徐々に増えていったように思います。特に心に残っているのは遠出の際のドライブです。見渡す限り一本道しかないような高速道路をひたすら何時間も走って移動することが多かったのですが、途中で何度もファストフード店に立ち寄り、そこで購入した食べ物を車の中で頬張りながら、当時流行っていた歌を皆で熱唱したりゲームをしたりして目的地を目指すのが、私たちのドライブの定番の楽しみ方でした。これは車社会のアメリカではごく日常的な光景だと思いますが、日本で自転車やバスを主な移動手段として使っていた当時の私にとっては、この何気ない車の旅そのものがとても新鮮で魅力的な体験に感じられました。

またこの他にも、テキサスのドライブインシアターで一味違った車の魅力も知りましたが、日本ではあまり馴染みがないかもしれませんが、ドライブインシアターは野外で映画鑑賞できる



South Padre Island, Texas (入口)

出典：https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Entrance_to_South_Padre_Island.jpg

映画上映施設のことで、広大な駐車場に巨大なスクリーンが設置されており、観客は自分の車に乗ったまま映画を観ることができます。私が留学した地域にも、1950年代に開業して以来地元の人に愛され続けてきた WesMer Drive-In Theater というドライブインがありました。ここでは比較的新しい映画が毎晩二本立てで上映されており、しかも「車1台につき10ドル」という手頃な価格でチケットが販売されていたので、週末の夜になると車の定員がいっぱいになるまで友人や近所の人を誘い、大勢で WesMer Drive-In Theater に繰り出したものです。満天の星空の下、開けた窓から入ってくる澄んだ空気や風を感じながら、それぞれの車内で映画を観るという体験は、屋内映画館では味わえない不思議な特別感に満ちており、車ならではの魅力が詰まった娯楽だと感じました。何よりも、プライベートな空間である車内では、周囲への迷惑を気にする必要が殆どないため、上映中に家族と映画の感想を言い合ったり、自宅から持ち込んだお菓子や手作りプリートを食べたりして、まるで自宅にいるかのように寛ぎながら、観客一人一人が思い思いに映画鑑賞を楽しめる点が魅力的でした。また同時に、同じ映画を観ている周囲の車の人たちと、車越しに映画の場面へのリアクションを共有したり、エンディングで一緒に拍手したり車のライトを点滅し合ったりする等、上映中にちょっとしたコミュニケーションが取れることも、ドライブインならではの楽しさでした。

車社会の中で不自由さを感じながら始まった



ドライブインシアターの外観
(WesMer Drive-In Theaterにて)



車内からの映画鑑賞の様子
(WesMer Drive-In Theaterにて)

留学生活でしたが、心優しいホストファミリーや友人のおかげで、車の旅やドライブインの魅力を味わう機会に恵まれ、テキサスの日常、文化を楽しく体験できたように思います。皆さんも今後アメリカに行く機会があれば是非車で色々な所を回って下さい。また、時代の変化に伴い年々減少し続けてきたドライブインは、他者との接触なしに映画鑑賞できるシアターとして、コロナ禍の現在再び注目されているようです。機会があれば是非体験してみてください。